

Rainbow Times

Children's Rainbow Center Newsletter

Vol.1 (創刊号) Autumn-Winter 2003



INDEX★TOPICS

子どもの虹情報研修センター、新しい建物での研修がスタート！

子どもの虹情報研修センター、ホームページもリニューアル！

ジェーン・グドール先生(霊長類研究者)の特別講演が開催されます！

研修会講師によるリレーエッセイ、連載スタート！

Rainbow Times

本日、創刊です！是非読んでください！

この Rainbow Times はみなさんとの交流のための新聞です。

読者のみなさんからの積極的な投稿をお待ちしております。

☆ 子どもの虹情報研修センター 新しい建物での研修スタート!

平成15年5月16日(木)～子どもの虹情報研修センターの新しい建物にて、平成15年度「新任児童相談所長研修」が開催されました。3月5日に開所式を終えてから最初の研修となりましたが、全国の新任児童相談所所長33名が出席されました。初めてのセンターでの研修でもあり、手拔かりがないか心配でしたが、無事開催することができました。大阪市中央児童相談所長の津崎哲郎先生の講義から始まり、センターの甲能研修部長の講義まで、1泊2日のスケジュールをみなさん真剣に受講されていました。「きれいな建物で研修を受けて、気持ちよかった」という声をうかがうことができ、センター職員もホッとしております。まだ不慣れな点も多いとは思いますが、今後とも、奮ってのご参加、お待ちしております。



☆ 子どもの虹情報研修センター ホームページもリニューアル!

子どもの虹情報研修センターの、ホームページがリニューアルされました。とはいっても、この「RainbowTimes」を読んでいただいているということは、リニューアルしたホームページにアクセスされているということなので、今さら...という感じではありませんが...(笑)

今までは、一般向けのホームページしか開設していませんでしたが、今回のリニューアルで、援助機関向けページというものが新しくできました。ここは、関係機関の方限定ページで、「研修受付」から「図書検索」までさまざまなメニューを備えたページとなっております。ご活用下さい。もし、関係機関の方で、パスワードを知らないという方には、こっそりと教えてあげてくださいね。よろしく願いいたします。また、援助者相互の交流を大いにしているため「掲示板」は利用価値大。(掲示板上での「匿名」希望もOK!)たくさんの方のアクセスをお待ちしております!

「RainbowTimes」も季刊の予定。うっかりすると、更新されます。お見逃しのないように。

★ジェーン・グドール先生 (霊長類研究者) の特別講演! 開催決定!!

みなさん、ジェーン・グドール先生という方をご存知ですか？ ジェーン・グドール先生 (Jane Goodall) とは、1960 年からアフリカ・タンザニアのゴンベ・ストリーム鳥獣保護区で野生のチンパンジーの生態観察を始められ、その後数々の重要な発見をされている世界的に著名なイギリスの霊長類研究者です。今回は、小林センター長の声かけで、グドール先生の特別講演が決まりました。「チンパンジーの子育て(仮題)」を通して、人間の子育てについて、グドール先生と一緒に考えたいと思います。

この特別講演は、平成15年度児童相談所心理職員指導者研修の一環として実施されますが、公開講座の形をとりますので、是非



特別講演を聴きたいという方は、センターまで申し込んでください。よろしくお願いいたします。

申し込み方法は、往復はがきに、「住所」「氏名」「勤務先」「電話番号」「メールアドレス」を記載のうえ、「特別講演参加希望」と明記の上、10月31日(金)までに当センター総務課宛までお申し込み下さい。参加の可否については、返信用はがきにてお知らせします。

(特別講演の内容については、次回の「RainbowTimes」にて、特集?する予定です!)

RainbowCenter と秘密の部屋

こういうのが、
好きなのです...

お仲間、いませんか。

By 家主

今回は、誰の部屋でしょうか？

(回答は「編集者のつぶやき...」にて)



研修会講師によるリレーエッセイ

今回、記念すべき創刊号のエッセイは、宮城県の子ども総合センターの「本間博彰先生」にお願いしました。大変お忙しい中、エッセイをお送り頂き、ありがとうございました。
(本間先生は、児童相談所スーパーバイザー研修、児童相談所・情緒障害児短期治療施設等医師研修で、メンタルヘルスや医師の役割についての講義をされた児童精神科の先生です。)

「児童相談所と16年の関わりから」

“児相と臨床”は古くて新しいテーマであると常々思って今日に至っています。クリニックと言われた時代、そして福祉臨床という表現が語るように、児相には児童福祉としての独特な臨床があるようです。子どもの虹情報研修センターが創られ、活動が始まっていますが、この先、児相はどんな臨床をめざしてゆくのでしょうか。全国をみると、いろいろな工夫がなされているようです。

宮城県は“地域子どもセンター”という名称で児相が社会的介入を中心として衣替えし、同時に“子ども総合センター”という名称の県の児童福祉機関がスタートし、3年目に入っています。私は子ども総合センターで所長をしながら、3名の常勤精神科医師と子どもの精神科診療をしながら、児相の業務に様々な関わりをしています。この総合センターは、児相に求められてきた関連職種の保育士や保健師などの職種に対する研修や様々な支援、そして心の問題を抱えた子どもとその親に対する様々な支援事業を行っています。もちろん虐待対策の研修会や他機関の支援も行っています。宮城県では、この2つのセンターが、時代と共に増大してきた児童相談業務を役割を分けて対応しているところですが、こうした機構の整備は、クリニック機能あるいは福祉臨床の必要性や社会の子ども対策の展開というニーズに応えていくチャレンジと思っています。

建物は築35年を超える古いものですが、ソフトは常識を超える新しいものと思っています。少しでも閉塞的状况に風穴があげばと願い、奮闘している今日この頃です。是非ホームページをご覧ください。宮城県のホームページからアクセスできます。

本間博彰



編集者のつぶやき...

いよいよ、「RainbowTimes」創刊です。いかがでしたでしょうか？センターの情報が今回はメインになってしまいました。しかし、本間先生の貴重なエッセイも掲載できました。貴重な創刊号となりました。この新聞は、これから季節ごとに発行していくつもりです。もちろん、みなさんからの投稿もお待ちしております。よろしくお願いたします。今回の「秘密の部屋」は、増沢ルームでした。(hiro)

Rainbow Times

企画・編集室

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地 子どもの虹情報研修センター内
TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091 Email info@crc-japan.net